

ブラジル宮崎県人会創立75周年記念式典における林大使ご挨拶

2024年8月24日（土）10：00～

蛭原 忠男 ブラジル宮崎県人会会長

佐藤 弘之 宮崎県副知事

野崎 幸士 宮崎県議会副議長

ご臨席の皆様

まず初めに、8月8日に発生した宮崎県の日向灘を震源とする地震により、被害に遭われた皆さまへお見舞いを申し上げます。皆さまのご健康と、一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

さて、ブラジル宮崎県人会が創立75周年を迎えられ、佐藤副知事をはじめ宮崎県関係者の参加を得て記念式典が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。

日本から遠く離れたこの地において、宮崎県出身の移民及びその子孫の方々は様々な困難をその努力と忍耐によって乗り越え、ブラジルの発展、そして、日・ブラジルの友好の架け橋として二国間関係の深化に大きく貢献されてきました。

様々な困難を乗り越え今日の繁栄を築き上げた先人の皆様、その先人の意思を継いだ2世、3世、4世、そして新世代の日系人の皆様に日本国大使として改めて深甚なる敬意と感謝の意を表します。

宮崎県人会は、宮崎県とブラジルを結ぶ大切な絆です。これまで農業研修や県費留学生等を通じて、県と長年交流を続けてこられました。

日本とブラジルとの交流については、去年からブラジル人の日本への短期渡航について、査証免除が始まり、昨年比で6割以上もブラジル人訪日客等が増えています。この機会に、高千穂、青島、宮崎牛など観光資源が豊富な宮崎県への訪問も、もっとPRしていきたいと考えております。

加えて、今年7月には、各都道府県の特産品の輸出、販売を促進するために、JICAや宮崎県人会等のご支援を得て、初めてB to Bの物産展をサンパウロで開催しました。私も参加させていただきましたが、宮崎県からは、干し椎茸、醤油等を製造、販売する3社にご参

加頂いたと承知しております。中でも杉本商店様の干し椎茸のかぶり物は、会場でもひととき注目を集めていました。また同時に行われたサンパウロの日本祭りでは、私の大好きなチキン南蛮も提供されました。これを機会に、宮崎のいいものをもっとブラジルで普及、販売していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、宮崎県の皆様、宮崎県人会の皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

(了)